

2015年6月30日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

武田産業に投資実行

MBO スポンサーと成長支援を目的に

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東泰志、以下「NHC」）が管理運営するニューホライズン 2号投資事業有限責任組合（NH-2）は、6月29日、SPC（投資受け皿会社）を通じて、自転車・サイクルパーツの大手製造卸・販売会社の武田産業株式会社（本社 千葉県柏市、代表取締役社長 井戸向 充実）にMBO スポンサーとして投資致しました。

本件は、武田産業の創業家出身であり取締役会長である武田英世氏によるMBO（経営者による買収）を支援するものであり、また、3年以内にIPO（株式公開）を目指す同社のガバナンスの強化と成長支援を目的としたものです。

業歴70年以上の実績を有する武田産業は、相続等を経て散逸していた株式の全部を投資ファンドのACA シナジー2号投資事業有限責任組合が取得し、その後、武田英世氏が一部再出資していました。

武田産業の特色は、①我が国の自転車市場が縮小する厳しい環境下にあつて、高い収益力を維持していること、②自社ブランドのノーパンクタイヤ装着自転車（名称：チャクル）の販売拡大によって成長を続けていること、③全国8か所に物流施設を整備（うち6か所は自社所有）し、自転車等の物流事業者としても高い競争力を有していること、④自転車のOEM製造・販売が売り上げ全体の5割を占め、在庫リスクが低いビジネスモデルを構築していること、⑤西日本・九州地区にも販売地域を拡大し更なる成長が期待できること——などが挙げられ、他社との大きな差異化要因となっています。

武田産業は、今後の経営戦略としてチャクルの新製品を6月以降順次市場に投入しチャクルの市場認知度の向上と取扱店舗の拡大を図るとともに、西日本・九州地区に自社物流施設を取得し、販路を拡大していく計画です。また、これらの施策を確実に推進することによって、3年後の収益規模を売上高で60～75億円（平成27年1月期比約1.5倍程度）にまで引き上げ、東京証券取引所に株式の上場を目指す方針です。

以上

添付資料：武田産業株式会社のファクトシート

ニューホライズン キャピタル株式会社

産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系企業再生（PE）ファンド。02年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から06年10月の会社分割を経て通算13年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,500億円超）を背景に、NHCとして2本目、創業から8本目のファンドを運営しています。02年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iaeホールディングス、たち吉など、開示可能なエクイティー投資先だけで35社、全体では90社以上という日本随一の企業再生・再編投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC） 竹江、牧野

電話 03-5532-8921

<添付資料>

武田産業株式会社

会社名	武田産業株式会社
本社所在地	千葉県柏市豊四季 339 番地 39
創業	1938 年 5 月
設立	1949 年 5 月
資本金	80,000 千円
代表者	代表取締役社長 井戸向 充実
従業員数	93 名（社員 58 名、パート 35 名）
主な事業内容	自転車・サイクルパーツの製造卸・販売 玩具・暖房器具・電化製品の卸売
本社・事業所等	本社：柏本社 事業所等：札幌支店、旭川営業所、東北営業所、新潟営業所、 渋谷事務所、中部営業所、大阪営業所、岡山営業所、佐賀主張所 物流センター（札幌、石狩、新潟、東北亙理、柏、四日市、堺、 岡山、佐賀（うち、札幌、石狩、新潟、東北亙理、柏、四日市の物流 センターは自社所有物件）
子会社／関連会社	・株式会社 TARGET（出資比率 100%）： 中古車を中心とした自転車販売 ・天津創新一力商貿有限公司（出資比率 51%）： 天津 GAMMA との合弁子会社 “chacle” の生産委託先 ・JAPAN BICYCLE NETWORK 株式会社（出資比率 25%）： 展示会の共同出展等

以上